

### 2021年の目標

#### 読者の便利

コロナが終息して、例年通り柏レイソルの試合が開催される事を願っています! 残り少ない私の人生、日本百名山登頂と、フルマラソン大会参加とピアノ上達を希望しています! (柏市・よくばりおばさん・64歳)

プラスの言霊を使う。ありがとうを1日50回以上伝え、自分にも感謝する。(野田市・みかん♪さん・47歳)

通信の大学に入り、何年かかってもいいから教員免許を取りたいと思います。いつか教育実習で教壇に立って、たとえ数年でもいいから本物の教師になりたい。その気持ちを持ち続け、来年ほほ30年ぶりに学生になります。(流山市・竹川さん・53歳)

子どもの卒業式に、着物を着たいです。(柏市・ペンタンママさん・49歳)

達成できま  
すように!



たくさんの投稿ありがとうございました!

←東葛毎日新聞社のお問い合わせコンタクトフォームのプルダウン『読者の便利』を選択してお送り下さい。



## 「大人も頼っていいんだよ!」

## 漫画でわかる 子ども食堂

方にも読んでもらいたい。また、流山市に転入してきた方には地域を知ってもらうきっかけにもなると思う」と顔をほころばせた。



南流山子ども食堂ホームページ

南流山子ども食堂で実際にあったエピソードをもとに、流山市在住の漫画家はしもとあやさんが描いた漫画「ここので」の中で、「はしもとさん自身が食堂の運営に携わり参加する側、運営する側の想いや人々の関わりなどを丁寧に描いた作品だ。NPO法人全国子ども食堂支援センター「むすびえ」が、子ども食堂の正しい認知を広げるため立ち上げた「こども食堂漫画化プロジェクト」で最優秀賞に選ばれ、2020年11月に初版500部を発行、現在第3刷3000部を準備している。

同漫画の流山市内26小中学校への設置が決定し、1月5日、南流山子ども食堂代表の金川聡美さん、同子ども食堂スタッフの宮崎杏里さんとそのお子さんたち、流山市議の西尾段さん、はしもとさんが流山市教育長田中弘美さんを訪問し、寄贈した。

田中教育長は漫画を通して自分たちが住む地域でどのような取り組みが行われているかを知ることができるとは貴重。子どもたちはもちろん先生

「ここので」で描かれた「こども食堂」のイラスト。作者ははしもとあや。



◆10冊以上の大量ご購入や、郵送のお問い合わせは左記まで。

◆南流山子ども食堂主催・南流山子ども食堂の会は、「みんなで食べよう」をコンセプトに2017年に発足。感染予防のために現在は集合型の子ども食堂を停止し、フードパントリー(無料食材配布)を実施している。配布は事前予約制で限定40世帯。予約は公式LINEから受付。詳しくはホームページを参照のこと。

会場：鎌ヶ崎・南流山一丁目自治会館(通称かえり会館)

住所：流山市南流山1-13-1

※駐車場はありません。

◆販売場所

- ・流山市ケアセンター
- 1 (流山市平和台2-1-1) 3階カウナター
- ・machimini (流山市流山1丁目264)



「ここので、できごと」紹介ページ

## かかりつけ薬局の「治療薬やワクチンの開発」

37



新型コロナウイルスの感染拡大に世界中が不安に包まれる中、ワクチン接種が欧米で始まり、国内でも承認申請が行われつつある。そして、ワクチンとともに期待されているのが治療薬です。

通常、新薬の開発期間は9〜17年といわれています。具体的には、まず基礎研究というものが2〜3年行われます。これは有効成分の候補となる物質を新しく探し出す研究です。次に、基礎研究により見つかった薬になる可能性のある物質の有効性と安全性を調べるための非臨床試験が3〜5年行われます。非臨床試験は動物や人工的に育てた細胞を用いて行われます。それを通過した物質のみが、次の臨床試験に進むことができます。

臨床試験はいわゆる治験というもので、人間を対象とした試験です。はじめに健康な人で安全性や薬物動態(薬を投与してから排泄されるまでの過程)を中心に試験し、その次に病気にかかっている患者さんを対象として有効性や安全性、用法・用量などについてのデータを収集します。臨床試験に要する期間は3〜7年で、収集したデータより薬と集めたデータを比較し、その可否を判断します。

臨床試験が終了して、薬として有効性・安全性が証明されると、厚生労働省に対して承認を得るための申請が可能になります。厚生労働省での審査、審議を経て許可されたものが医薬品として世に出ることができ、ここから進むことができます。この時点で進むことができない候補物質は数少なく、研究対象となったほとんどの物質は途中で段階で開発が断念されてしまっています。薬の開発を成功させることはとても大変なことなのです。

治療薬が一刻も早く誕生してほしいのは当然のことですが、多くの薬には副作用があることを忘れてはいけません。過去に開発を急ぐあまり、承認前から分かつていた危険性について十分な安全対策がとられていないまま世に出て、薬害事件につながってしまったこともありました。このような事件が繰り返されないためにも、長い年月をかけて慎重に開発を行い、有効性だけでなく安全性を確保することが大切なのです。

治療薬やワクチンの開発には手間隙がかります。はやる気持ちを抑えて安心して使える薬ができるのを焦らず急がず待ちましよう。

五香薬局実習生 矢作知佳

応援します、健康家族!

(有)安藤薬局五香薬局  
松戸市常盤5-17-15  
☎047-385-0260



左から宮崎さん、はしもとさん、田中教育長、金川さん、西尾さん

## 子どもの広場 ゆうび

折坂麻理江 17 + 280

### 返事はあっても、なくなっても

◆由ちゃんの傍らにはいつもスマホがあります。友達とラインのやりとりをするためです。一緒にお昼を食べているときもスマホが鳴ると「ちよと」「メコ」とつぶやいて通じます。「どんなことやりとりしてるの?」と聞くと「ん〜好きなアイドルとか、学校の事とか。大した話はないよ」と言います。

相手から返信がないときは大変です。「友達にラインしたんだけど返事が来ない。聞くと送ってからもだ1時間も経っていません。もう少し気長に待っていたら」と伝えますが由ちゃんは「嫌われたのかな?」こんな遅いなんておかしくない?」とそのことで頭一杯の様子でした。

◆翔くん(中2)。話している中で翔くんの友達の話が話題になりました。「翔くん最近ゆうびに來なるとさ、連絡とってたりする?」と翔君に聞いてみましたが、「こないだラインしたけど連絡ないなあ。前はたまにさ、さういふときあるんだよ。誰とも連絡とりたくなるときあるじゃん。しばらくしてまた連絡したくなったらさ、さういふときあるんだよ」とのんびり言います。

ラインは気軽にコミュニケーションを取れる便利なものですが、それでもそのやりとりには時間と労力が491(NPO)ゆうび小さな学園

東葛毎日新聞社のお問い合わせコンタクトフォームより、『掲載依頼』を選択し、内容と連絡先を記入の上、申し込み下さい。

※無料掲載の場合の掲載有無は、新聞発行前のお答えが出来ます。お手数ですが、紙面でご確認ください。

### 伝言板

※新型コロナウイルス感染症予防のため、イベントが中止または延期となる恐れがあります。詳細は、各主催者にお問い合わせ下さい。

有料の催しは1枠5,000円(税別)で掲載。参加者が参加費無料の催しは無料で掲載(無料掲載応募多数の場合は抽選になります。)

投稿はメール mainichi@bunya.ne.jp  
FAX 04・7146・7313 まで

### ●NPO法人手賀沼トラスト 里山農教室受講者募集

有機・無農薬の野菜づくりを伝授します。

期間：3月13日(土)〜12月、毎月3回程度、土曜(8時30分〜12時)会場：我孫子市根戸1349(駐車場有)年会費9000円(入会金含む)募集人員先着30人程度。申込〆切2月28日(日)

問☎090・2234・5610(富沢)  
メール info@teganuma-trust.jp

### ●令和2年度子育てコンサート 「おいしいおもいで!たのしい音楽!トペラトトに会いにいこう」

3月20日(土)13時30分〜14時30分(13時開場)流山市文化会館ホール

参加費無料 ※要申し込み 先着約300名

電話で、氏名、電話番号、参加人数を流山市文化会館へ。(2月21日より受付開始)ご家族毎に申し込みを。

問☎04・7158・3462 同会館

### ●防災講演会 地域で助け合う防災〜地震から命を守る〜

2月2日(火)14時〜15時30分(13時30分開場)流山市文化会館(流山市加1-16-2) 入場無料、申込不要

定員300名 話通訳・要約筆記あり

※必ずマスク着用。

問☎04・7150・6312 流山市市民生活部 防災危機管理課



ホームページ